



2019年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社アイ・ピー・エス 上場取引所 東
 コード番号 4335 URL http://www.ips.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 生田 裕彦 TEL06-6292-6236
 定時株主総会開催予定日 2019年9月26日 配当支払開始予定日 2019年9月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月27日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の連結業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	2,596	26.9	123	75.1	122	72.6	90	95.7
2018年6月期	2,046	-	70	-	71	-	46	-
(注) 包括利益	2019年6月期 90百万円 (95.5%)		2018年6月期 46百万円 (-%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	37.81	37.41	10.4	8.2	4.8
2018年6月期	19.32	19.19	5.6	4.9	3.4

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 -百万円 2018年6月期 -百万円

(注) 当社は、2018年6月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年6月期の対前期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	1,545	926	58.8	380.11
2018年6月期	1,440	848	57.6	347.35
(参考) 自己資本	2019年6月期 908百万円 2018年6月期 829百万円			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	△121	△94	△13	396
2018年6月期	△18	△3	△13	625

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期	-	0.00	-	5.00	5.00	11	25.9	1.4
2019年6月期	-	0.00	-	10.00	10.00	23	26.4	2.6
2020年6月期(予想)	-	0.00	-	10.00	10.00		24.6	

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,100	△2.4	10	64.4	10	71.2	6	97.1	2.90
通期	2,500	△3.7	140	13.5	140	14.1	97	7.6	40.68

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年6月期	2,466,000株	2018年6月期	2,466,000株
2019年6月期	77,000株	2018年6月期	77,000株
2019年6月期	2,389,000株	2018年6月期	2,389,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年6月期の個別業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	2,567	26.3	120	76.0	119	73.3	87	96.0
2018年6月期	2,033	24.3	68	△39.1	69	△40.5	44	△39.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	36.69	36.30
2018年6月期	18.72	18.59

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2019年6月期	1,536		917	58.5			376.33	
2018年6月期	1,430		842	57.6			344.69	

(参考) 自己資本 2019年6月期 899百万円 2018年6月期 823百万円

2. 2020年6月期の個別業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	1,070	△3.2	5	226.4	3	670.5	1.45	
通期	2,450	△4.6	130	8.4	90	2.9	37.77	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における連結経営成績は以下のとおりであります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善や民間設備投資の増加などを受けて、景気は緩やかな回復を続けましたが、外需の減速等を背景に輸出や生産の一部に弱さが見られました。一方、海外経済においては、米中通商問題による影響や英国のEU離脱問題が長期化するなど先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、システムのクラウド利用や更新需要の増加等により、企業のシステム投資は堅調に推移しております。さらにあらゆる場面でAIやIoT技術を利用する戦略投資としてのIT投資案件が増加しており、新しいビジネスの進展が期待されます。

かかる状況の下、当社グループは中堅・中小企業様向けの国際標準業務システムをパブリック・クラウドにて早期導入するサービス提供を行っております。当社グループはこのパブリック・クラウド版の提供を通じて様々な業種と業務におけるグローバルなビジネスに向けたエンタープライズ対応機能を提供するとともに、ビジネス・ネットワークの進展の基盤として新たな顧客価値を創出し、日本企業の成長戦略の実現に注力してきました。さらに、当社グループは顧客ニーズに適応した業務改善提案を実施するとともに、SAP ERP導入後の活用に向けたソリューションの提供を通じて、積極的なコンサルティング活動を推進して参りました。

以上のような活動を推進した結果、当連結会計年度の業績につきましては、新規案件の獲得などが好調に推移したことなどにより、売上高25億96百万円（前期比26.9%増）となり、計画に対しまして5億96百万円の増収でした。利益につきましては、持続的な競争力強化のために、SAP製品の販売には不可欠なS/4 HANAなどSAPにおける最新技術の習得やコンサルタントの体制強化を図る一方、積極的な中途採用を実施したことにより、販売管理費が大幅に増加したにもかかわらず、営業利益1億23百万円（前期比75.1%増）、経常利益1億22百万円（前期比72.6%増）および親会社株主に帰属する当期純利益90百万円（前期比95.7%増）となり、予想数値は未達ながら過去最高益を達成しました。

なお、当社はERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。また、製品及びサービス毎の情報は以下のとおりであります。

(ERP導入事業)

売上高18億44百万円となりました。

(保守その他事業)

売上高7億52百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億4百万円増加し、15億45百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2億29百万円減少し3億96百万円、売掛金が2億7百万円増加し5億51百万円、固定資産が58百万円増加し2億95百万円であります。

当連結会計年度末における負債は26百万円増加し6億18百万円となりました。主な内訳は、買掛金が66百万円減少し88百万円、未払金が0百万円減少し91百万円、未払法人税等が6百万円増加し34百万円であります。

当連結会計年度末における純資産は78百万円増加し9億26百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金が78百万円増加し5億80百万円であり、自己資本比率は58.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、3億96百万円となりました。
当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益1億22百万円(前期は71百万円)、減価償却費47百万円(前期は42百万円)、売上債権の増加による支出2億7百万円(前期は1億70百万円)、たな卸資産の増加による支出30百万円(前期は70百万円)、仕入債務の減少による支出66百万円(前期は1億14百万円の収入)、前受金の増加による収入46百万円(前期は7百万円の支出)等により、全体として1億21百万円の支出(前期は18百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出40百万円(前期は8百万円)などにより、全体として94百万円の支出(前期は3百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出11百万円(前期は11百万円)などにより、全体として13百万円の支出(前期は13百万円)となりました。

(4) 今後の見通し

日本経済の見通しについては、海外経済の下ぶれ懸念や米国を中心とする貿易摩擦を背景として、先行き不透明感を払拭できない状況が続くものと思われまます。当業界におきましては、不透明な事業環境下ではありますが、顧客のIT投資は引き続き底堅く推移するものと考えられます。

このような環境下、当社グループはSAP S/4HANAを中心とする製品群を、次世代の業務ツールとして、お客様の業務品質を高めるとともに、お客様のSAP導入によるグローバル展開を支援することにより、収益基盤の一層の拡充を図ってまいります。

以上により、次期の業績見込みと致しましては、売上高25億円、営業利益1億40百万円、経常利益1億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益97百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	625,334	396,029
売掛金	343,994	551,517
仕掛品	112,452	142,961
前払費用	106,922	133,759
未収入金	11,524	14,699
その他	2,522	10,299
流動資産合計	1,202,750	1,249,266
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,920	44,329
工具、器具及び備品(純額)	10,015	16,685
土地	19,003	19,003
リース資産(純額)	2,708	1,896
有形固定資産合計	49,648	81,914
無形固定資産		
ソフトウェア	56,924	34,219
その他	3,249	2,579
無形固定資産合計	60,174	36,799
投資その他の資産		
投資有価証券	963	1,172
関係会社株式	—	10,000
繰延税金資産	45,209	55,306
差入保証金	63,899	93,445
その他	17,444	17,099
投資その他の資産合計	127,517	177,024
固定資産合計	237,340	295,738
資産合計	1,440,091	1,545,004
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,526	88,492
未払金	91,956	91,873
未払費用	2,011	1,852
未払法人税等	28,457	34,967
賞与引当金	9,441	8,600
前受金	141,290	187,311
未払消費税等	19,013	26,930
その他	13,591	17,902
流動負債合計	460,288	457,930
固定負債		
退職給付に係る負債	129,407	160,335
その他	1,935	—
固定負債合計	131,343	160,335
負債合計	591,631	618,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	502,493	580,896
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	829,721	908,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	△27
その他の包括利益累計額合計	97	△27
新株予約権	18,640	18,640
純資産合計	848,459	926,738
負債純資産合計	1,440,091	1,545,004

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,046,434	2,596,948
売上原価	1,562,412	1,946,086
売上総利益	484,022	650,862
販売費及び一般管理費	413,556	527,475
営業利益	70,465	123,386
営業外収益		
受取利息	45	29
受取配当金	14	22
未払配当金除斥益	143	44
受取手数料	1,761	—
その他	164	316
営業外収益合計	2,129	412
営業外費用		
支払利息	102	72
為替差損	408	114
コミットメントフィー	900	897
その他	93	—
営業外費用合計	1,504	1,084
経常利益	71,090	122,714
特別損失		
固定資産除却損	—	178
特別損失合計	—	178
税金等調整前当期純利益	71,090	122,536
法人税、住民税及び事業税	28,104	42,242
法人税等調整額	△3,186	△10,054
法人税等合計	24,918	32,187
当期純利益	46,172	90,348
親会社株主に帰属する当期純利益	46,172	90,348

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益	46,172	90,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△125
その他の包括利益合計	△20	△125
包括利益	46,151	90,223
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	46,151	90,223
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	255,250	94,202	463,353	△22,223	790,581
当期変動額					
剰余金の配当			△11,945		△11,945
親会社株主に帰属する 当期純利益			46,172		46,172
連結範囲の変動			4,912		4,912
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	39,139	—	39,139
当期末残高	255,250	94,202	502,493	△22,223	829,721

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	118	118	11,917	802,617
当期変動額				
剰余金の配当				△11,945
親会社株主に帰属する 当期純利益				46,172
連結範囲の変動				4,912
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△20	△20	6,723	6,702
当期変動額合計	△20	△20	6,723	45,842
当期末残高	97	97	18,640	848,459

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	255,250	94,202	502,493	△22,223	829,721
当期変動額					
剰余金の配当			△11,945		△11,945
親会社株主に帰属する 当期純利益			90,348		90,348
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	78,403	—	78,403
当期末残高	255,250	94,202	580,896	△22,223	908,125

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	97	97	18,640	848,459
当期変動額				
剰余金の配当				△11,945
親会社株主に帰属する 当期純利益				90,348
連結範囲の変動				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△125	△125		△125
当期変動額合計	△125	△125	—	78,278
当期末残高	△27	△27	18,640	926,738

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	71,090	122,536
減価償却費	42,924	47,034
前払費用の増減額 (△は増加)	△7,415	△26,836
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,897	30,928
株式報酬費用	6,723	—
受取利息及び受取配当金	△60	△51
支払利息	102	72
売上債権の増減額 (△は増加)	△170,238	△207,522
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,705	△30,508
仕入債務の増減額 (△は減少)	114,483	△66,034
前受金の増減額 (△は減少)	△7,373	46,021
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,303	7,916
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,620	△14,186
その他の負債の増減額 (△は減少)	△28,899	192
その他	1,829	2,517
小計	△1,717	△87,921
利息及び配当金の受取額	60	51
利息の支払額	△102	△72
法人税等の支払額	△16,281	△36,155
法人税等の還付額	—	2,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,041	△121,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,427	△40,667
無形固定資産の取得による支出	—	△13,086
貸付金の回収による収入	1,000	1,000
差入保証金の差入による支出	—	△30,988
差入保証金の回収による収入	5,520	—
保険積立金の積立による支出	△800	—
関係会社株式の取得による支出	—	△10,000
その他	△464	△334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,170	△94,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,972	△11,912
リース債務の返済による支出	△875	△900
その他	△900	△897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,748	△13,710
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△34,960	△229,304
現金及び現金同等物の期首残高	639,888	625,334
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,406	—
現金及び現金同等物の期末残高	625,334	396,029

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるために、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ERP導入事業	保守その他事業	合計
外部顧客への売上高	1,403,079	643,355	2,046,434

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社三栄コーポレーション	277,505
福助工業株式会社	203,564
富士通株式会社	191,283

(注) 当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ERP導入事業	保守その他事業	合計
外部顧客への売上高	1,844,089	752,859	2,596,948

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
パナック株式会社	527,336
株式会社アツミテック	234,004
株式会社三栄コーポレーション	230,504

(注) 当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	347円35銭	380円11銭
1株当たり当期純利益金額	19円32銭	37円81銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	19円19銭	37円41銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	46,172	90,348
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	46,172	90,348
普通株式の期中平均株式数(株)	2,389,000	2,389,000
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
普通株式増加数(株)	16,271	26,020
(うち新株予約権(株))	(16,271)	(26,020)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。